

ひまわり

No.13「さらに」

令和2年7月1日(水)

ひとりごと

校庭ではついにセミが鳴き始め、バッタやカマキリなども見られるようになり、雲も大きく縦に伸びています。7月になりましたね。臨時休校が明けてから1か月。状況が大きく変わることもなくなり、いつもの日常に戻ってきたな、という実感があります。

新しい仲間

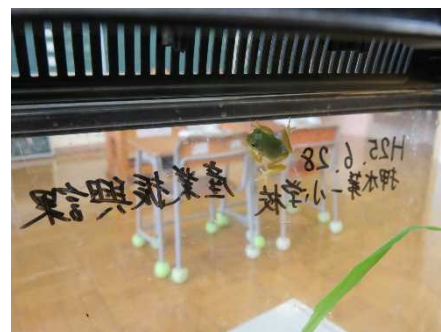
ひまわり教室にまた新しい仲間がやってきました。トノサマガエルのゲロちゃんとアマガエルのケロちゃん、ちびちゃんです。今回は捕まえてから家を作るのではなく、事前にしっかりと時間をかけて住みやすい環境を調べ、環境を整えてから迎え入れました。湿った土を用意し、休んだり遊んだりできる草を植え、飲み水の入れ物も用意し、消毒されていない湧き水を汲み、餌用の小さいバッタを捕まえ…といったようにしっかり準備した結果、かなり過ごしやすそうにのびのびと生活しています。



トノサマガエルのゲロちゃん
みずきさんのお気に入り。
よく動きます。



アマガエルのケロちゃん
体が薄い黄緑色で、
水が苦手です。



アマガエルのちびちゃん
体は鮮やかな緑で小柄。
少し臆病です。

ひさしぶりの

用務員の堀さんが、先日宝達山で捕まえてきたというアサギマダラの幼虫を学校にもってきてくれました。みずきさんは興味津々で、アサギマダラの幼虫が葉を食べる様子をかじりつくように見ていました。夏はアサギマダラだけではなく、さまざまな生き物が姿を現し始めます。生き物博士のみずきさんを見習い、さまざまな生き物と触れ合っていきたいな、と思います。

